

第51回 西高祭 開催

『NEXUS ～51ページ目に刻む思い～』

千西一遇

第34号

2015年
7月25日 発行

上田西高校
新聞委員会
代表
羽田果歩

平成27年度7月4日から3日間、第51回上田西高校文化祭が開催された。

1日目と3日目は校内祭、2日目は一般公開であり、3日目の校内祭終了後に

3日間、雨の影響なく無事西高祭を開催することができた。今年の西高祭のテーマは「NEXUS ～51ページ目に刻む思い～」

カウントダウンとクラッカーによる三日間の幕開け



は後夜祭も行われ、梅雨入り、悪天候が予想されていたが、雨の影響なく無事西高祭を開催することができた。今年の西高祭のテーマは「NEXUS ～51ページ目に刻む思い～」

受賞企画団体一覧

○クラス部門○

屋台

- 最優秀賞 3年4組「和み処 ～あげぱん～」
- 優秀賞 3年7組「FROZEN」

オブジェ

- 最優秀賞 1年4組「モザイクアート」
- 優秀賞 1年3組「Gate of the school arch」

ステージ

- 最優秀賞 3年3組「NOISY TRIBE」
- 優秀賞 3年6組「ネバーランド」

○部活動部門○

オブジェ

- 最優秀賞 書道部「真田丸」
- 優秀賞 華道部「シンデレラ～World of flower～」

ステージ

- 最優秀賞 吹奏楽部「花束～音で絆をつなごう～」
- 優秀賞 家庭科部「Disney princess fashion show」

役員による生徒会太鼓の演奏があり、源流という難度の高い楽曲を披露した。生徒

催宣言が行われ、3日間の西高生の青春がスタートした。今年も一般公開も今年も



後夜祭で拳を上げダンスを踊る男子生徒

徒会役員が披露した3年ぶりとのことだ。その後、西高祭実行委員長栗林穂カウソンのダンス、クラッカーとともに西高祭開催宣言が行われ、3日間の西高生の青春がスタートした。今年も一般公開も今年もより充実した中庭ステージや屋台などがあり、多くの来場客が訪れた。3日目の校内祭は様々なステージ企画が盛り込まれ、3日間のうち最も盛り上がりを見せた。各日程を終えた後夜祭では、花火は生徒の目にはどう映ったのだろうか。西高祭を終えたことによる達成感や、心寂しそうに涙を流す生徒や、友人と笑顔で見つめる生徒など様々な姿が見られた。

最優秀賞受賞企画紹介

個性あふれるクラス部門
オブジェ部門最優秀賞は 一年生



3年3組「NOISY TRIBE」

クラス部門最優秀賞は3年3組「NOISY TRIBE」が受賞。二つに割られていたグループがダンスを通じてつになり、絆が結ばれていくというストーリーであった。

映像とステージでのダンス披露を交互にするといった工夫のあるステージを見せてくれた。衣装は白と黒を基調としたストリートファッションで統一。hip-hopダンスのステージをより一層輝かせて魅せた。ルーム長の小川涼さんは「3組はとても仲の良いクラス。当日は練習以上のステージにすることができ、とても満足している」と語った。そして屋台最優秀

賞を受賞したのは、3年4組の「和処(あげばん)」。屋台といっても学習室1で販売し、昼の間やダンボールで一から障子を作るなど、凝った内装を手掛けた。砂糖、きなこ、ココア、抹茶(あんこ入り)の四種類を1つ80円という文化祭ならではの値段で販売。二日間合わせて1200個用意したが、西高祭一日目は販売開始から一時間、二日目は一時間半で完売となった。ルーム長の丸山敢士さんは「クラス全員が満足のできる仕上がりができるよう努力した。こだわりの詰まった屋台だったので、受賞はとても嬉しい」と語った。

オブジェ最優秀賞受賞企画は、1年4組の「モザイクアート」。



1年4組「モザイクアート」

クラス写真をモザイクアートに制作。その大きさは教室の半分を占める巨大なものであった。展示スペースの横には机とイスも置かれ、休憩所としても最適な空間であり、多くの生



3年4組「和処(あげばん)」

徒や来場客がくつろいでいる姿が見受けられた。ルーム長の倉賀野優海さんは「正直受賞はとても驚いた。制作にも三週間ほどかかったので、努力が結果になり嬉しい」と語った。

部活動部門

部活動部門最優秀賞は、吹奏楽部の「花束なごう」が受賞。三日間のうち、吹奏楽部のステージは、一日目の校内祭を初めとし、二日目にはオープニングセレモニーのファール、中庭ステージのオープニング、エンディング演奏、一般公開のステージ発表と、多数にわたり活躍を見せてくれた。一般公開のステージ発表では、顧問兼指揮者の熊谷先生が声楽科の先生ということから、特別ゲストとして、ソプラノ歌手の

西高の文化を発信する部活動部門

来年度の大ドラマ「真田丸」の文化を発信する部活動部門

新海裕恵さんが共にステージに立ち、西高吹奏楽部とのコラボステージを披露した。部長の内堀佳菜さんは「最優秀賞受賞目指して日々練習を重ねてきたので、受賞はとても嬉しい。今後も夏のコンクールがあるので練習を頑張っていきたい」と語った。

そして部活動部門オブジェ最優秀賞は書道部の「真田丸」が受賞。体育館の後ろの壁一面に迫力のある書を展示し、見せるものを魅了する作品だった。テーマは来年度大河ドラマがこの上田の地が舞台となっている真田丸ということにちなんだそう。製作期間



吹奏楽部「花束」



書道部「真田丸」

は約一週間。部長の林真奈美さんは「デザインなど試行錯誤しながら作品を制作したため、受賞できたのだと思う。結果になり嬉しい」と語った。

編集後記

千西一週第34号を読んでいただきありがとうございます。西高祭から二週間がたとうとしています。三日間の思い出を大切にこれからの学校生活をより楽しんで下さい。

さて、本日は硬式野球準決勝です。全校一丸となり、甲子園出場目指し、応援しましょう。